

# 新年のごあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス（以下、コロナ）の感染拡大に翻弄された一年でした。残念ながら現在もコロナ感染拡大に終息の見通しが立たないなど厳しい状況が続いています。学校では、これまでに経験したことのない一斉休校、そして感染拡大を防ぐための消毒作業、保護者や家族のいない学校行事等々、先生方も保護者も試行錯誤が続きました。各ご家庭においても、仕事と家庭の両立に苦心をされ、経済的に大変になったご家庭も少なくなかったのではないかとご推察いたします。また、新型コロナウイルス感染の拡大に伴う中傷などの報道には、残念な思いもいたしました。このことで、私たちも保護者としての学び（社会教育）の重要性を改めて感じ、社会教育団体としてもっと活動に力を入れなければならないと決意を新たにしたところです。

さて、茨城県PTAの活動においても、多くの行事の中止を余儀なくされましたが、令和2年度のスローガンとしました「ピンチをチャンスに PTAをブラッシュアップしよう」の下、役員・理事・事務局が一丸となって、皆様からのご意見や他県の好事例を参考に、新たな変化を重ねております。

例えば、

- 活動の見える化の一環として、これまで各単位PTA20部の配布としていた広報紙を全会員配付(約19万部)に拡大し、より多くの方に活動を見ていただけるようにする。
- 情報共有の強化や役立つホームページとなるために、県PTAホームページ全面リニューアルに着手する。

などの取り組みを進めております。

また、県内5つの地区の地区PTAや各委員会においても、人を集める代わりに、講師との座談会動画のWEB配信を実施、地区内PTAを対象にアンケートをとりまとめ、思いの共有と次年度への事業の手がかりにするなどの活動を進めてきております。

なお、県内の各単位PTAの皆様にも、新型コロナウイルス禍の中、状況に応じて工夫を凝らしながら、子どもたちの笑顔のためにさまざまな取り組みが行っていただきました。「コロナを嘆いても始まらない。私たちが変わり続けることで、子どもたちにとって良い手本を示すのだ!」という思いが、私どもにもひしひしと伝わってまいります。

また、大きな事業でなくても、小さなことをコツコツと積み上げ、今回のピンチをチャンスに変えているPTAも多いと耳にし、心強い限りです。皆様へ感謝申し上げます。

私たち茨城県PTAも皆様に負けないよう歩を進めてまいります。

令和3年は、子どもたち、先生方、そして保護者の笑顔あふれる一年になるように、そして、各単位PTA、会員一人ひとりにとって充実したPTA活動がおくれるように、前を向いて一緒に頑張っていきましょう!

本年もどうぞよろしく願いいたします。